

有田川町議会広報

# かわら版

平成 21 年 8 月発行

## 第 14 号

発行 有田川町議会  
住所 郵便番号 643-0021  
和歌山県有田郡有田川町  
大字下津野2018番地4  
電話 0737-52-2111  
FAX 0737-52-2198

<http://www.town.ariyagawa.lg.jp/profile/gkocho.html>



『気持ちいいなあ〜』（アレック水の公園）

### もくじ

平成21年度補正予算等	2 ~ 7
町長に問う（一般質問）	8 ~ 19
視察研修レポート	20 ~ 21
編集後記	22

## 国の景気対策等による大型補正!!

# 補正総額 11億4,051万円

### ◎平成21年度補正予算の主な歳出

一般会計（第1号）

（単位：千円）

項目	補正額	補正後の総額	摘要
総務費	5,185	1,509,820	車購入、集会所改修など
民生費	9,863	3,303,481	要介護高齢者等見守り事業委託費、保育士臨時雇賃金など
衛生費	157	1,206,572	和歌山県救急医療情報システム運営負担金など
農林水産費	39,113	1,596,821	農薬用水源地保全対策事業委託料、鳥獣害防止対策事業費補助金、小規模土地改良事業、山の恵み活用事業補助金など
商工費	6,000	133,627	商工会補助金、観光費など
土木費	8,000	1,144,712	道路新設改良費など
消防費	18,654	660,032	備品購入費など
教育費	7,373	1,447,940	備品購入費、修繕料など
災害復旧費	84,205	84,209	林業用施設災害復旧事業など
歳出計	178,550	14,548,550	

一般会計（第2号）

（単位：千円）

項目	補正額	補正後の総額	摘要
総務費	961,963	2,471,783	経済危機対策事業費、観光活性化施策基金事業費など
歳出計		15,510,513	
歳出総合計 (1号+2号)	1,140,513	15,510,513	

平成21年第2回定例会は6月9日から25日までの日程で開催されました。本定例会には報告2件、工事請負契約1件、諮問1件、平成21年度一般会計補正予算（第1号）（第2号）、特別会

計補正予算2件、条例の制定5件、財産の取得4件、道路線の認定・廃止4件についての議案を審議し、すべて原案の通り可決されました。

### 21年度一般会計補正予算

危険で古い旧御霊

公民館で学童保育をしているが、となりに立派な公民館があるのに、教育委員会は危険であることを知りながら新しい公民館を使わせないと聞く。教育委員会の姿勢はどうか。町長はどう考えるか。学童でも使えるように公民館の使用を認めるべきではないか。

福祉課長 御霊学童保育は、常時43名、冬場などは70人を超える子どもが利用している。旧公民館は平成22年度には取り壊す予定である。新たに小学校の南側の運動場に面している町有地に学童施設を建設するが、でき上がるまで今の旧公民館を利用するわけにもいかない。耐震診断を受けて老人いこいの家を借りて実施していかなければならない。



**教育委員長** 危険であることは、認識している。

**教育長** 公民館活動もあって、学童保育専用には難しい。ただ時間的に打ち合わせすれば可能だ。

**町長** 危険であれば、新しく学童保育の建物ができると公民館を使えるようにしたい。

**学童保育の位置づけ**

のだが、子どもが保育所の時にはパートにも出られたが、小学校に入るとパートに行けなくなることが問題で、本来は教育委員会の問題ではないのか。各学童保育所の児童数や課題は何か。施設の確保が問題であると思うが、教育委員会としての姿勢はどうか。

**教育委員長** 福祉課と連携をとって協力していきたい。

**教育長** 幼児教育に教育委員会も加わっていくために、今年から学園構想で中学校区を単位に0才児から15才児までの一貫教育のために、構想を練っている。

藤並学童は、開始時30人から現在70人以上あり、70人を超える補助金が打ち切られるので2つに分けている。御霊学童は、43人。石垣の場合は10人以内だと把握している。



御霊学童保育所

**福祉課長** 藤並学童の第1で常時41人、登録は58人。第2で常時29人、登録は49人。御霊学童は、常時43人、登録は67人。石垣学童は、常時13人、登録は24人。施設の確保が悩みである。

**子どものことを最優先に考え、新しい学童保育の建物ができるまで公民館を使えるようにできないか。**

**教育長** 公民館の使用は、公民館協議会で決めなければならぬ。連絡を取り合い推進の方向でやってみよう。

**質疑** あらぎ島の展望所設置に6千万円余り計上しているが、用地費がどのくらいか。土地は鑑定した単価か。高い金額になっていないか。



平成25年に棚田サミットが開催されます(あらぎ島)

**用地について、地権者の承認を得て予算化したのか。予算がないと用地交渉に行けないと思うが。**

**町長** 6月26日までにある程度の計画を国へ報告しなければならぬ。今後棚田サミットもあり、この機会に整備したいので計画していく。用地はまだ全く交渉していない。

**棚田サミットに向けた取り組み、あらぎ島PRのためのソフト事業。予定している公共事業を早く進めていただきたい。**

**町長** 棚田サミットは、全国ですでに開催したところでは約1500人が宿泊している。2年ぐら



いは専従職員をつけてやらなければならぬ。ソフト面が大事。仕事を早く出せるよう進めている。また9月ごろ公共事業のための予算がでてる。

**農業課長** 棚田の効率性が悪いので住環境の面で見えていくのもひとつの方法。できるだけ耕作を継続してもらえよう。地域に応じた作物の導入をはかっていきたい。

**学校情報通信技術環境整備事業の内容はどうか。** 経済対策といわれている中で、地元業者に分発注すべきでないか。これだけ集中してパソコンを購入すると買いかえのときに自主財源で億単位の財源が必要。そのことを考えて購入されるのか。廃棄するパソコンに入れていく情報が漏洩しないかその対策は万全か。

**学校教育課長** ICT化

事業で、スクールニューディール構想の中の一つ。情報通信技術の整備として最先端の機器、デジタルテレビ、電子黒板、パソコン等を駆使して分かりやすい授業の実現をめざす。国庫補助半分、後は経済対策の予算でまかなう。デジタルテレビは全体で173台・電子黒板22台・教育用パソコン160台・電子黒板22台のパソコン・職員用パソコン174台で合計356台、あとプリンターとネットワークシステムと

なっている。委託料で200万円。備品購入費で2億5021万3千円となっている。分発注はできるだけ考え、これから計画したい。今回は買取だが、次の7年後ぐらいにリース契約で対応したい。セキュリティはサーバーを管理して対応したい。

**情報管理課長** 学校のパソコンは管理していないが、今までのようなセキュリティ体制では対応できない。情報管理課の方でアドバイスをし、情報もれのないようにしたい。

**町長** 町内で発注できるものは、すべて町内へ発注するのが私の考え。今後が変わらない。

**事務的な面で、全店舗に声をかけ発注するのは難しいと思う。どのような形で町内発注を考えているのか。**

**町長** 地元が活性化できるようにいろいろな方向で検討したい。

**緊急経済対策だが、一部の業者だけ潤ってはだめだ。温泉等を整備して集客するが、地元の商店街が潤っていないと聞く。目配りを求めたい。**

**あらぎ島の展望所建設について、これまでもあらぎ島の写真を撮りにく**

る方がいるが、撮ったらすぐUターンして帰ってしまう。地元で物を買わない。温泉があることも知らない。整備をしても経済効果が上がるのか。現状からみると疑問が残るし、配慮して考えておくことも必要。

**三田の公衆トイレの維持管理も地元でみているので苦労している。その辺も考えていただきたい。**

**町長** 確かにお客を地元の方へもまわしてほしいと意見が出た。開発公社だけでなく、みんな取組んでいただくことが、開発公社も潤い、地元も潤う。地元と十分協議しながら目配りしながら進めていきたい。

**写真を撮りにきてそのまま帰るといふのも知っている。今回整備して清水地域の活性化につなげたい。棚田サミットは期待している。元気になることをやっていきたい。**

**三田の活性化センターの併設トイレだが、活性化センターを整備するときにあらぎ島へ来られる方もトイレを使用することも含めて地元区が管理することで了解を得ている。**

**明恵峽温泉施設改修に5700万円予定しているが、利用客が少なくなっている中で、以前のように戻るのか。もつと入るよう使い道を考えておくべきではないか。民間の意見を聞くべきであるし、温泉のことをもっと研究すべきでないか。**

**町長** 小さい露天風呂をもうひとつの風呂と同じ大きさになるよう改修する。ご指摘いただいたこともすでに伝えている。温泉施設に入ったところに受付（フロント）がないので改善したい。

**農業課長** 小さい方の風呂をスペースが許すかぎり広げたい。館内の空調



改修も予定している。ジェットバスの整備等、利用者の要望をふまえて改修する。一日の利用客が多かった時にフロントを中へ移したが、計画時の当所見込みであった一日300人に落ち着いてきたのでフロントを玄関先にもどしたい。意見を聞いて良い施設に設計してもらう。

**報 告**

○有田川町土地開発公社の経営状況

○財団法人有田川町ふるさと開発公社の経営状況

**温泉等の施設へ集客を増やすうえで、観光施設巡回バス運行のメリットを考えていないのではないか。ふるさと開発公社との連携や観光係に5人いても、イベントに**



明恵鉄道温泉

振り回されている。新規の観光開発や今回のバス運行の計画に参加すべきでないか。

**行政局長** 予算を編成するときに巡回バス運行時期が分からなかった。上半期が終わった段階で見直しをしたい。

**町長** 厳しいが、営業努力している。清水地域の

みなさんが知恵を出してほしい。みんながバスを利用していたきたい。

**町長** 観光係については、町の行事に参加するだけでなく新しい企画を立てて進めるようにしたい。

**町長** ふるさと開発公社へ今まで、町が出した金額はいくらか。

**行政局長** 平成20年度で2千万円。基本財産4千万円、運用財産1億8千万円を出している。

**町長** 指定管理者制度での取り組みについては、

**行政局長** 平成23年3月末まで指定管理期間はあるが、改善計画をみながら、今年中に判断しなければならぬ面もでて

くる。公社独自の考えは、経営改善や収入アップで雇用を増やしたい。有田川町全体から雇用できるようにしたい。

**町長** 今回、新たにできた清水地域観光活性化協議会の位置づけはどうか。また出されている要望は何か。

**行政局長** すでに開発公社、商工会青年部、紀清の集い、清水A・Cなどいろんな団体で観光活性化に取り組んでいる。それらの団体が集まって清水地域観光活性化協議会を構成し、平成25年の棚田サミットに向けて観光振興をはかるという趣旨で設立した。協議会から開発公社へ助言はできると思う。

**町長** 観光施設巡回バスの早期の運行と清水温泉周辺施設の老朽化に伴う投資の要望がきている。

**工事請負契約**

○有田川町情報通信基盤整備工事の請負契約（清水地域、光ケーブルによる地アジ対応等）  
5億5770万500円

**諮 問**

○人権擁護委員候補者の推薦  
米田 美鈴 氏

**特別会計補正予算**

○農業集落排水事業特別会計補正予算 162万7000円追加

**町長** 徳田の県営住宅は単独槽のまま農業集落排水に加入していない。下流に排水を流していることをどのように考えているか。合併処理浄化槽にするよう確約をとってほしい。



**下水道課長** 現在、県営徳田団地は、単独浄化槽である。県に対して県営徳田団地への合併処理浄化槽を早急に設置されるよう要望書を提出している。

**町長** 県に強く、早急に合併処理浄化槽に替えてもらえるよう要望したい。

**副議長** 要望書の提出は町長を先頭に町、担当委員会、地元県議と揃って陳情していただきたい。

**町長** 県に強く働きかけていきたい。

○公共下水道事業特別会計補正予算400万円追加

### 条例の判定

○使用料の徴収に関する条例の一部を改正

**副議長** 体育施設の料金が高い。1時間であっても1万5000円いる。これだと利用してもらいにくい。使いやすい状況をつ

くってほしい。

**町長** 使用上無理な点とどうか、弊害もでてきている。今後見直しをした

い。

○企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律における固定資産税の特別措置に関する条例（3年間固定資産税の減免）

○火災予防条例の一部を改正

○町営住宅条例の一部を改正

○プラスチック収集場条例の一部を改正

### 財産の取得

○学校図書充実事業（小学生用図書購入）

2656万1640円

○学校図書充実事業（中学生用図書購入）

2391万8370円

○地域交流センター（ア

レック）への図書購入843万6750円

**副議長** 最終的に何冊の図書を購入するのか。金屋図書館には、書架のスペースが空いている。アレックへ移したのか。その分また補充するのか。

本を買うのはいいが、整理する予算がないと聞く、どうなっているのか。またマンガ本が盗まれていると聞くが本当か。

**社会教育課長** 今回アレックへ5千冊入れる予定。現在、アレックには1万6千冊入っている。金屋図書館は、補正で対応する。

整理の予算は、今回の補正で臨時職員3人入れて対応する予定。マンガは、過去においてかなり盗難があった。盗難されやすいので委託職員が注意して盗難がないようにやっている。現在確認しているところでは教冊なくなっているが、後日閉



アレックの図書コーナー

館して確認した上で対策を決めたい。半年に一度閉館して調査したい。

**副議長** アレックへの購入本は、全部で4万冊と聞いている。今後コミックは中古市場で買う方がよいと思う。また特色のあ

る本の購入とはどういうことを考えているのか。防犯対策はどうか。盗まれないように取り組むのが行政の責任ではないか。

アレックの本を金屋や清水へもまわすことも検

討してはどうか。

今後の4万冊整備にむけての年次計画はどうか。

また金屋図書館が少ないといわれたらすぐ補正するというが、財源をお聞きしたい。今回購入するにあたっての主旨、分野別の割合、冊数の資料を出していただきたい。

**社会教育課長** アレック

クは、今後1万9千冊入られて4万冊にしたい。マンガ本は寄贈が2万冊ある。マンガ本についてはできるだけ中古で購入したい。合計7万冊になる。今回通していただいた補正で3万6千冊購入予定。これをアレック、金屋、吉備、清水、移動図書館に回していく予定。

購入の冊数等は、配布計画の資料で出したい。5千冊の内容は、いま選書している最中。リストはこれからつくる。

特色のある本は、読まれないものは置かず、み

なさんに親しんで読んで

いただける本を中心に選んでいる。マンガはコミック中心に、学習用に鳥獣戯画のように、マンガの研究もできる選書をしている。

防犯対策はいろいろ検討したが、職員がよく見守ること、取られない

宣伝を行うこと、セキュリティシステムよりも人が見守ることや利用者の良心に期待することを基本にしたい。

防犯カメラも設置している。防犯カメラ稼働中のシールも張って告知している。

有田川ライブラリーという形で本を整理し、アレック、各館室、移動図書館でまわしていくシステムを考えている。

**町長** 5千冊の内訳は、パソコン関係10%、歴史関係10%、小説30%、芸術20%、会話の本10%、

家庭の本20%で計画している。精査をしながら安く買えるようにしたい。

**町長** アレックに電動の車イスを設置されたい。

**町長** 精査して電動の車椅子と普通の車イスを置けるようにしたい。

◎町内観光施設巡回バス 購入(2台) 2767万5640円

◎一ツ松南北5号線廃止 (一部ルート変更)

◎町道大谷側道線 認定

◎町道谷原南北線 認定



観光施設巡回バス(ボンネット型バス) イメージ図

請願・要望	
結果 採択	御霊学童保育施設の拡充に関する請願 提出者 御霊学童クラブ保護者会 付託先 住民福祉常任委員会
結果 継続審査	二澤観音堂への参道橋梁整備について 提出者 二澤区長 坂上 熊三 付託先 産業建設常任委員会



道路線の認定・廃止

- ◎一ツ松南北5号線廃止 (一部ルート変更)
- ◎町道大谷側道線 認定
- ◎町道谷原南北線 認定



# 町長に問う 一般質問



楠木 教育長



中山町長



山崎副町長



山崎企画財政課長



中島産業課長



水口情報管理課長



東建設課長



三角社会教育課長

## こんなことが取り上げられました

登壇順	質問議員氏名	質問事項
1	中山 進	・ 合併後の町行政は
2	浦 博 普	・ 講場のモニターを役場ロビーに設置できないか ・ 学校教育に議会傍聴を
3	佐々木裕哲	・ 公務員は結構なものやといわれるが ・ 国産木材（紀州材）の利用促進は
4	森本 明	・ 高齢者福祉施設の拡充は
5	前勢 利夫	・ 農林業対策は ・ 中小企業融資問題は ・ 道路整備は ・ 公共事業の最低制限価格は ・ 急傾斜地域の安全対策は ・ 限界集落問題は
6	竹本 和泰	・ 合併協定と建設事業計画について問う

登壇順	質問議員氏名	質問事項
7	中西 正門	・ 人工的産業から風土的産業への転換は ・ 有田川町（烏屋城山）で滄竜の化石が発見されたことの今後の対応は
8	坂上東洋士	・ 有田川町社会福祉協議会で検討された結果は ・ 冬期における通学バスの置き場確保は
9	東 武史	・ 学校施設等や廃校舎の利用促進は ・ 町営住宅の入居条件の緩和は ・ いわゆる行政バスの統合・再編は ・ 自然エネルギーの積極的な活用は
10	増谷 豊	・ 長期総合計画によるまちづくり計画は ・ 観光施設巡回無料バス運行は ・ 地場産業振興支援策等は
11	堀江真智子	・ 来年度、新卒者の雇用確保は





## 住民が求めるサービスの充実を

中山 進

**要旨** 合併して名実ともに有田川町として4年目に入っている。この間行政改革大綱が策定され、行政のスリム化および財政の健全化を図っている。少しずつ結果が出ていると思うが、民間企業と比較すると、合理化が遅れている。住民が求めている低負担、高サービスに

### 行政のスリム化を



第1次長期総合計画書

型予算にしている。また目標管理制度を導入している。人員削減については、合併時に50人の方が退職され、さらに5年間の集中管理の中で、今後80人の削減を目標に取り組んでいる。事務処理については、広域で処理することを検討している。

向かって一歩でも進めてほしい。

**町長** 有田川

町の将来像については、長期総合計画に沿ってまちづくりを行って

いる。行政のスリム化については、19年度から予算の配分は今までと異なり自立

### 半年後の町長選は

**要旨** 先の合併協議会の中

で、町長の信念は、町の将来のことを考えると合併は避けて通れないということ、合併に「尽力」された。そして民意により初代の有田川町長となり、残る任期も半年となった。町長の考えて

いる町の将来像の建設は道半ばだ

とは思いますが、

半年後の町長選に出馬

する用意があるのかお伺いしたい。

**町長** 合併して3年6ヶ月。ここ

にきて名実とともに一つの町として

まとまってきたよう

です。



本庁舎

に思う。藤並駅の特急停車、高速道路の4車線化、国道の整備等により、有田の中心となるまちづくりを進めていきたい。まちづくりも道半ばのため、半年後の町長選挙に住民のご理解が得られるならば、町長選に出馬したい。

## インターネットを使って議会中継を!!



浦 博 善

### IT 技術を活用し情報の発信を

**町長** もっと気軽に傍聴をすることができれば、それをきっかけに行政に対する関心が高まり、そのことが住民参加の行政につながるっていくことになる。

①議場の様子を映しているテレビモニターを、役場一階のロビーに設置することができないか。

②既存の庁舎内LANなどの設備を利用して、金屋庁舎や清水行政局のロビーにもモニターを設置することができないか。

③インターネットを通じて、町のホームページから放映することはできないか。

**町長** ①吉備庁舎については要望があれば設置する。②金屋庁舎と清水行政局については、設置できるように検討していく。③インターネットでの配

信は可能と思うが、議会の同意が必要である。

**情報管理課長** ②庁舎内

ネットワークを利用して、吉備・金屋・清水庁舎のロビーへモニターを設置する場合、サーバーの設置・配線工事・端末・ディスプレイ・設定費用など、約109万円の費用で実施できる。

③インターネットを通じて直接配信する場合、初期費用としてサーバー・ルーター・インターネット回線の新規導入費・回線利用料など約30万円。

年間費用としては、インターネット回線利用料の約12万円が毎年必要とな



紀の川市役所(旧打田町役場)一階ロビーのテレビモニターで議会中継が見れます

る。

### 中学校の授業に議会傍聴を

**町長** 修学旅行で国会議事堂を見学に行き、テレビで総理大臣や閣僚の話し合いをみる。そういった状況では政治は遠い所でやっていることだと感じてもらう。外国の文化を勉強することも大切だが、身近な問題である町の行政を知ってもらうこともまた重要なことである。

**教習員** 中学校の授業等で議会傍聴の機会をつくることのできるか。また子どもたち自身の意見を聞く機会をつくることのできるか。子どもたちが家庭で町議会の内容について話をすれば、大人たちも関心が高まってくるのではないか。

**町長** 非常に大事なことであると思う。各学校と調整をして傍聴の機会を



安達中学校による議会傍聴(平成18年12月)

与えるようにしたい。さらに中学生のみならず実際の議場を使っていたら、議会形式で子どもたちの意見を聞く場を考えていきたい。議会のみなさまにも協力をお願いしたい。

**教習員** 中学校の議会傍聴は、町の成り立ちを考える意味において、大変効果があるものと考えている。議会との日程調整など学校運営上で難しい面もあるが、今後は各中学校の意見を聞きながら、前向きに検討していきたい。





## 公務員は結構なものやと言われるが？

佐々木 裕哲

**【質問】** 職員の一部には、出勤時間間際に入り、帰りはチャイムと同時に帰る職員がいる。就業規則がある以上、時間内に入ればよいが仕事する以上は、常識的な時間で出勤し働いてほしい。せめて5分ぐらい余裕が持てないか。急ぐと事故が起らないとも限らない。



出勤状況

もう少し余裕が持てないのか。少なくとも出勤は5分前に

**町長** 最低5分前に来なければ仕事が始められない。中には1、2分前にタイムカードを押すものがある。今後、このようなことがあってはならないので課長を通して指導していく。

### がんばれ、はじめめる協働隊

**【質問】** 職員の若手中堅の有志たちが、業務改善や行政改革をしようと自主的に集まり行動している。他の市町村に誇れる行動だ。トップダウンではなく、下からの意識改革が大事だ。また、職員の昇格も自動的ではなく管理職になるためには、試験も必要ではないか。優秀な職員を引き上げてやってほしい。町長以下、役場が変わったと町民に言われるような行政をめざしてほしい。

**町長** 職員が、自主的に改革しようとする熱心に取り

組んでいることは、うれしい。また職員がやる気ができるような職場づくりに努める。

### 感心する「ゴミ拾い」

**【質問】** 役場下の、パチンコホールの従業員がゴミ拾い。開店以来、広範囲の場所を毎日続けてくれている。この姿には頭が下がる。私たちも含め職員も見習わなければならないと思うが。

**町長** たくさんの方々が、いろいろな方面でボランティア活動をしてくれている。アーリーナの従業員がゴミ拾いは、私はいつも感謝している。お礼を言いたい。

### 国産木材「紀州材」の利用促進は

**【質問】** 何をもちって紀州材というのか。思い切った政策なくして林業振興、国産材の促進は図られないか。

**町長** 和歌山県の木材がすべて紀州材ではない。認定が必要だ。今、国産認定材を使用すれば税制面で優遇するという、認定法をつくるために検討していると聞く。また、輸入木材に関税が課せられていないことも問題だ。地方6団体が一致団結して国へ働きかけたい。



## 高齢者福祉政策・災害対策は



森 本 明

### 高齢者福祉施設の 拡充は

**町長** 6月現在、わが町の人口は、2万8550人、65歳以上は8200人で高齢化率は28.7%となっている。8200人の高齢者の内、介護認定を受けられている方は1413人で17.2%を占めている。現在町内の老人ホーム等の福祉施設に入居されている方は217人、入居を希望され待機されている方は、一部重複して申し込みをしているが、200人前後と推察される。

介護認定を受けられている方で、疾病で入院し3カ月経過後、退院するにも受け皿が見つからず、困っているご家庭が多いことも事実である。

そこで町長にお伺いする。既存の施設の増床、または、新規に高齢者福祉施設を誘致できないか。

そうすることで、不景気で企業誘致も思わしくない本町にとって、施設ができることで多くの雇用が創出され、若者が定住し活気がでてくるものと考えられる。高齢者に優しいまちづくりは行政の大きな責務であり、何らかの対策を考えていただきたい。

**町長** 現在、町内の高齢者福祉施設は特別養護老人ホーム、老人保健施設と合わせ5施設で375床の定員である。町内から217名が入所している。平成21年度、しみず園において、5床を増やす予定である。

この制度については、入所者数が増えると介護保険料が上がることになり、簡単に増床するわけにはいかない。既に、3カ年計画で平成21年から23年度までの介護保険料も決定している。しかし、受け皿もなく

困っている多くの入所待機者がいることも承知している。今後十分に関係機関とも相談し、ご期待に沿えるよう前向きに取り組んでいきたい。

### 防災対策は

**町長** 山間部、農村部で、町道、農道、林道が、瓦礫、土砂、草木等で埋もれた側溝を見かけ

る。その清掃業務を、大不況の中リストラ等で職を失った方を、近く緊急雇用で採用されるが、その方たちの労働力も含めあらゆる手段で、これからの集中豪雨が起る台風シーズンの防災対策として、側溝等を早急に整備していただく、土砂崩



草木が生い茂った側溝

れ、民家への野水の侵入等を、未然に防いでいただきたい。

**町長** 緊急雇用対策として、国から6カ月の採用が認められ、4名を採用した。この方たちの業務として、側溝の清掃、町道の草刈り、危険な箇所を整備等、多岐にわたりにお願いしたいと思っております。





## 地元産学の育成を

前 勢 利 夫

### 農林業対策は

**【質問】** 景気低迷の中、基幹産業である農林業対策は。

**町長** 基盤、経営体制、担い手育成、加工による付加価値づくり、販売流通促進の5点に集中し、平成21年度より、県との共同による新農林水産戦略総合対策事業で、みかん、山椒、生石ブランド、巨峰村等の関係団体と協議し販売強化に取り組む。今般の農地法改正を受け、農地活用の視点から参画希望企業の体質、条件等を精査、農業委員会と協議し、適切な処理を行いたい。

耕作放棄地再生利用対策事業は、再生利用者の方策を検討する「再生利用推進交付金」と再生事業のための「再生利用交付金」の2つの制度となっている。受皿となる

地域耕作放棄地対策協議会を早急に立ち上げ、積極的に実施していきたい。

小規模高齢者農家への交付金制度は、農地の集積を加速化させる事業で期待できる反面、規模が1ha以上のため、県を通じて解釈・緩和を求めている。

後継者育成には、価格動向が何よりの要素だ。先にもふれたが、施策実行による安定所得の確保が必須条件となる。関係者一同、総力を挙げて取り組む。

林業振興施策については、清水地域が主になるが、長引く林業不振の中で林家の山林離れと高齢化が憂慮される状況にある。

国・県が豊富な事業計画を立て苦境打開に道を開いているが、効果があまり見えてこないのが現状である。

林家、組織体としての

森林組合、町行政機関は連携を密にして対処する。

### 中小企業融資は

**【質問】** 中小企業融資はどうか。

**町長** 第一段階としての業種認定証明については産業課で実施している。申請者が有効に資金利用できるように関係機関と行政の許されている範囲で取り組む。

### 公共事業の適正価格は

**【質問】** 道路整備は社会インフラの根元だ。同時に公共事業の適正価格は確保されなければならないのではないか。

**町長** 国道424号、480号、県道、町村道、その他の道路整備に全力で取り組むとともに適正価格での契約の推進改善を総務省より通達があり、設計額の70～90%の範囲

で見直し、設定している。

### 急傾斜対策は

**【質問】** 清水地域、日物川地区、北野川地区の急傾斜防止対策はどうか。

**町長** 日物川地区は、一部工事が平成21年度中から実施される。北野川地区の対策は保安林に指定されしだい処理する。

### 限界集落対策は

**【質問】** まずは憂慮される限界集落の対応はどうか。

**町長** 清水17集落、金屋11集落、吉備2集落とまさに目を離せない状況が現出している。安心安全確保のため福祉対策を。住民の意見を聞きながら種々の施策を行いたい。



## 合併協定と建設事業計画は



竹 本 和 泰

### 旧3町で合意した 合併協定について 町長の認識は

旧3町で締結した合併協定書を順守し、合併した町の均衡のある発展と、合併して良かったと住民が意識の持てる行政の遂行を望む。

町長 旧3町が合意の上、作成した協定書であり重く受け止めている。

### 庁舎問題は

将来にわたり行政の効率化、町民に分かりやすい行政を進めて行くためには、総合庁舎を建設する必要がある。現在、新庁舎検討委員会の状況はどのようになっているのか。

また、国道改良に伴う金屋庁舎の一部取り除きによる教育委員会事務室等の移転についてどのように考えているのか。

### 町長 庁舎問題について

は、既に将来の本庁舎及び事務機能に関する審議会を5回開いたが、今すぐ新しい庁舎を建設することは全員反対であった。しかし、今後状況の変化により、新庁舎については引き続き検討することになっていく。金屋庁舎は非常に古く、耐震欠陥から改築か、新築かということも議論している。近く、審議会から答申を頂く。

また、金屋庁舎から農協までの国道改良で、庁舎の一部を取り壊すことから教育委員会、商工会、森林組合の移転が必要となる。現在、教育委員会の職員が24名である。近辺での移転先について検討したが適当な場所がなく、一時的に地域交流センターに移るが、金屋庁舎の問題が解決すれば戻す予定にしている。

### 建設事業計画は

合併後10年間の旧町別建設事業費は、総額533億円を計画、合併のときに町民に説明している。この建設事業費は、旧3町が計画している懸案の事業をバランスよく実施していくこととしていた。しかし、現状は大変アンバランスな状態である。今後どのように旧町の均衡のとれた事業を推進していくのか。また、合併協議会の主な立場にあった副町長の認識は。

町長 事業計画533億円は、旧町の総合計画から積算した金額である。吉備地域の事業費が多いのは、まちづくり交付金事業と大谷農道の大型継続事業であり、平成21年度でほとんど終わる。この二つの事業実施を合併協議会の中で了解を得ている。今後、金屋・清水地域でもいろんな事業を展開していく。吉備地域だけ特別に使うことではなくこの3年間は大型継続事業があったことをご理解願いたい。

副町長 町長の施政方針に従ってやっている。

### 建設計画執行状況

(単位: 百万円)

地区名	計画事業費 (注1)	実施事業費 (注2)	執行率
吉備	17,089	14,387	84%
金屋	18,907	3,991	21%
清水	12,272	6,610	54%
新町分	5,050	1,930	38%
総計	53,318	26,918	50%

(注1) 計画事業費 平成17年度～平成27年度の事業費一般会計と特別会計の総額

(注2) 実施事業費 平成17年度～平成21年度までの執行額





## 風土を生かす道を<sup>きわ</sup>窮め産業の再生を

中 面 正 門

### 地域産業の振興を

**【問】** 合併前の3町には、それぞれ良い風土がある。バブル時代、人工的産業として温泉施設、ふるさと物産センター等を建設した。当時の状況では、取り残された地域が最後のチャンスだと思ひ、踊ったが現在経営に苦慮している。

商工会、農協、町民のご協力なくしては再生の道は遠い。藤並駅への特急停車、高速道路4車線化も見えてきた。経済効果は、計り知れない。恵まれた風土を生かした風土的産業を掘り起こ

す好機を伺う。

**町長** 当町の基幹産業である農林業を中心に魅力ある産業の育成に力を注ぎたい。景気低迷の中で現況をふまえ、産地として生き残るために恵まれた風土と地域の個性を生かしたブランドをつくるよう、有田管内の関係団体で構成する産地協



みかん産地の有田川

議会で産地のPR事業の活動で果樹振興会を設立、次世代の担い手育成に努め、また改植、園内道、冠水施設の整備の推進。遊休農地の解消のため農業委員会において農地銀行活動を実施する。

このような取り組みのもと、ブランドづくりの推進のため販売戦略を実行、本町として基幹産業の活性化と発展に努めたい。

### 化石を観光資源に

**【問】** 鳥屋城山で滄電の化石が発見された。化石は夢の世界観、観光資源としての用途はどうか。



滄電の復元図 資料提供：和歌山県立博物館 原画提供：谷本正浩氏

**町長** 約7千5百万年前の化石で、白亜紀後期に生息し、関節のつながった状態で「後肢」が発見された。国内では初めてと聞いている。当町で今年11月頃、実物をお借りして観光資源となるよう展示することを検討している。

## 法人格をもたない個人が公金である 現金を保管すべき性格のものなのか



坂 上 東 洋 士

### 社協の土地と現金の 管理体制はどうか

**【質問】** 先の3月議会で質問をした件について、その後の結果について報告していただきたい。

**町長** 有田川町社会福祉協議会で協議をさせていただいた中身については、合併後の有田川町社会福祉協議会の財産として引継がなければならない通称「室川」といわれる地域の山林は、この間、田中捷之氏、上北泰生氏が各2分の1の持分で登記をされていた。これを有田川町社会福祉協議会の方に寄付という形で登記をされており、結果として財産が法人格を持つ社会福祉協議会のものとなった。

しかし、この移行の中で監査委員から田中、上北両名の寄付という形になっているが、元々清水町長であった堀江賞一氏

から「福祉の向上と増進のために使って欲しい」という思いが何ら分らないではないかという指摘を受けた。それで社会福祉協議会の議事録にそのことを明記するようにした。

またこの財産以外にも1300万円の現金も個人名義で管理されていることが判明した。法人格をもたない清水地区福祉推進会の会という任意の団体を合併前に設立して、そこでいろいろと協議をされているようである。

1300万円の現金についても、合併後の社会福祉協議会で旧清水地区のための財産として管理すべきで、現在そのように進めるための協議をしている。

**【補】** 公金である「現金」を個人という資格で持つべき性格のものではないと考える。社会福祉協議会で粘り強く交渉を続け

られるよう求める。

**町長** 旧吉備町、旧金屋町も残った現金は現在基金等で、合併後の社会福祉協議会で管理されているので同様の扱いが妥当であると考える。引き続き交渉して問題の解決にあたりたい。

### スクールバス管理 の改善を

**【質問】** 冬場のスクールバ

スの管理について、旧清水地区では路上駐車での保管となっている。窓ガラスが霜や氷結で朝方難儀をするから改善策を求める。

**町長** 今回の追加補正予算にそれらの問題が解決できるように設計監理費として70万円、工事費として70万円計上している。早急に対応したい。



スクールバス





## 既存施設と 自然エネルギーの有効活用を!!

東 武 史

### 学校・体育施設の 利用促進を

**町長** 昨年よりスポーツ各種団体に対し、年間8000円を徴収しているが、無料でも良いのでは。また、学校・体育施設の使用形態に整合性がなく、観光振興からも町外の方が使いやすいとはどうか。さらに施設の空き状況が一目で分かるように。

**町長** 各団体から年間8000円頂くことは、妥当だと思う。ただ、高齢者の方は、特例ですべて無料にする。

**教育長** 使用時間・料金の見直しと町外規定を撤廃する。また、予約システムを検討する。

### 町営住宅の募集を より積極的に

**町長** 清水地区町営住宅で空き件数は12件、2年間空いている所もある。先の議会で単身入居が可



町営住宅

能になったが、広報は十分できているか。現状が続くなら、所得制限の見直しや田舎暮らしを希望する方へ斡旋できないか。

**町長** 広報・町ホームページで募集している。また、所得制限などについては、国に対し規制緩和できないか交渉する。

### 行政バスの統合・再編で 住民が使いやすいバスに

**町長** 行政バスとは、コミュニティバス、スクールバスのこと。広義で言えば、一部路線バスも含む。それらの経費に約7

000万円かかる。北海道二セコ町のシャトルバスはスクールバス、福祉バス、一部路線バスを統合再編したバスで、経費をおよそ2000万円削減した。そのことと高校生を保護者が送迎している点をどう思うか。

**町長** スクールバスとコミュニティバスが重複している所もあり、課題も多いが、検討するよう指示している。高校生のことは初めて聞いた。校長とも話して検討する。

**教育長** スクールバスの経路、定員、停車地、児童の安全確保、健康維持のための乗車時間の短縮などの問題があるが、今後、関係課とも協力し検討する。

### 自然エネルギーの 積極的な活用を

**町長** 世界的にCO<sub>2</sub>削減を進める中、当町も「自然との調和」エコ推進のま

ち」として、風力発電のみならず、自然エネルギーの活用を積極的に行うべきでは。

**町長** まもなく10基の風力発電ができ、試運転が始まる。藤並小学校の太陽光発電施設は年間電気料金が366万円、充電料は14万3549円であり、経費の割には収入が少ない。当町では、二川ダムの常時放流水を利用するマイクロ水力発電を検討している。水利権の問題もあるが、積極的に進めたい。



新しくできた風力発電(長峰山脈)



## 合併のとき決めた事業等が 地域により格差が出てくるのでは



増 谷 憲

### まちづくり計画の経 過と今後の方向は

**質問** ①平成22年度末までの事業費総額は。②平成23年度から27年度までの金屋・清水地域の事業計画は。③金屋庁舎が国道の拡幅により一部撤去になる。教育委員会を地域交流センターへ移すと、そのままになってしまっているのではないかと。④定住対策の検討はどうか。

**町長** ③地域交流センターへ一時、間借りさせていただき、その後金屋庁舎へ戻したい。④転入する人、転入する世帯に定住奨励金を出す検討をしている。21年度中に結論を出し、条例として提案したい。

**企画財政課長** ①約22.3億円になる予定。②今後町道谷原線（吉備地域）、町道押手杉野原線、防災関連の消防費、あさぎり温泉建設工事、

消防庁舎建設工事、給食センター建設工事、吉備中学校校舎・体育館等建設工事、大蔵沼谷線開設工事等、県営ため池工事、黒松農道、小川総合整備事業、合併浄化槽等の補助金を予定している。

### 観光施設巡回バス 運行で、民間業者 はどうなる

**質問** ①町民は、目的地と同じであれば有料運行と無料運行のどちらに乗りたがるか。②路線廃止になったら、町民がどう考えるかのアンケート集約はどうか。③民間業者が撤退したらどのような対処されるのか。④地域交通会議を開いて意思統一する考えはないか。

**町長** ①答弁しなくても分かると思う。②路線バスの運行をなくさない方向で努力したい。③撤退

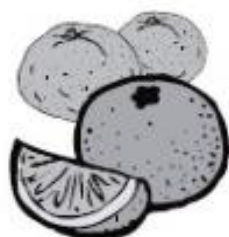
するとなれば町で対応しなければならぬ。地域交通会議を開いて新たな路線バスでの運行を検討しなければならぬ。④地域交通会議の開催の必要はないし予定していない。

### みかん、山椒などの 価格保障や販路拡大、 地元商工業への発注 増で地場産業振興を

**質問** ①当面5年間の期限内で、一定期間の平均価格を下回った場合みかんや山椒、間伐材への価格保障制度をつくってはどうか。②販路拡大としてみかん時期に月数回ぐらいい学校給食に、また山椒を首都圏の量販店へ売りこむ人的配置での販売戦略をしてはどうか。③入札資格の要らない小規模工事制度や住宅リフォーム助成制度で地域内産業の活性化をはかっているか。④有田川の鮎釣り

情報をリアルタイムで流してはどうか。

**町長** ①農家のためになるかどうか。徹底した考えの中でやらないと適正な制度にならないと考えられる。今後研究させていきたい。②販路拡大として、みかんや山椒等を、農協と協力しながら売り込みに行けというのであれば喜んで参加させていきたい。③工事をした後にはトラブルが起これば困るので指名入札にしている。最低条件が整っていれば指名許可を与えている。高齢者住宅改造補助事業等を活用していただきたい。④町のホームページの観光情報から見る事ができな







## 地域若者の雇用確保を!!

堀江 眞智子

大不況の波は、和歌山の田舎にまであつという間に押し寄せ、今年度の高校卒業者の就職に影響してくることは、進路セミナーで保護者に説明された。6月12日の新規学校卒業生対象求人説明会に、例年は約40社の事業所が参加している。今年は約4分の3程度の事業所の参加だった。毎年7月1日に各高校に求人票がくることになっている。今年は景気の動向を見ながら求人票が学校に届けられることになりそう。和歌山県で約230社、有田管内で約20社が国の休業給付金の制度を活用しているが、現在動いている方も失業に追い込まれるかもしれないという不安を抱いている。このような中で、新規採用は厳しい状況だと進路担当の先生もおっしゃっている。

町長は、昨年町内企業

に派遣社員の首切りをしないよう要望してくれた。今年度についても新卒者の雇用確保のため、特に厳しいといわれている高卒者のために地元事業所への強い働きかけをすぐにしていただきたい。来年2月には、町議会議員の定数も8名削減される。このことで、年間約3000万円ほどの財源が新たに生み出される。この財源の用途については検討されていると思うが、「地域の若者がお年寄りを支えていく」という町長答弁をふまえ、こんな時こそ地元の新卒者を採用されることを求める。そのことが、他の企業の採用に対する迷いを払拭することにつながると思われる。併わせて、今年度3名の保育士を正規採用したが、来年度も正規の採用を増やしていくことを求める。

町長 今年度は、4ヶ月

連続で求人が減少しており、厳しい社会情勢で雇用確保はさきわめて困難であると感じている。企業・経済界、ハローワーク等に働きかけしっかりとお願いをしていく。役場職員の採用は、大事な雇用現場と認識している。今年も何名か予定をしている。社会情勢をみながら、対処していきたい。



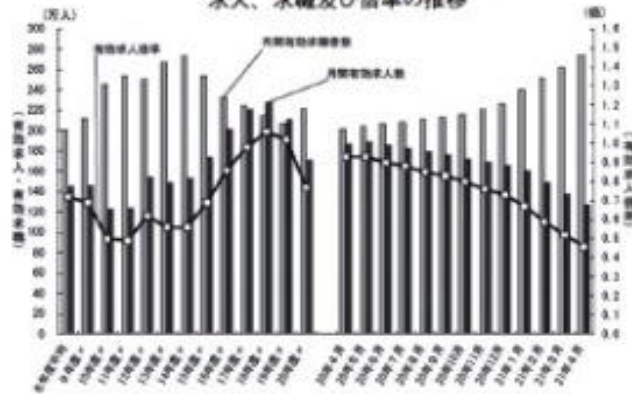
7月1日

日から、求人票が高校にくるのでそれまでに迅速な対応をお願いする。「地元に残り、郷土の祭りや政治に参加する子どもを育てていくことが大切である」と言われた有田中央高校の校長

先生の言葉を實現させるためにもいっそう尽力されたい。

町長 地元の新卒者を中心に雇用の確保を図っていただくよう働きかけていく。一般事務職・保育士合わせて、平成22年度には4名採用予定している。今後も保育士についても採用枠を増やすよう努力していきたい。

求人、求職及び倍率の推移







ニセコ町校場内での研修風景

50円、小学生未満無料)で利用できるバスである。きっかけはスクールバスや福祉バスの運行路線が複雑で、効率が悪く、経費がかかり、観光客や一般客の利用が制限されること、路線バスでは年々利用者が減少してい

廃校舎の活用は、ニセコピールを地域ブランド化させた企業に、校舎を含む既存備品類を無償提供し、この企業と町、地元農業者等が連携協力して特産品の開発を行い、観光協会と連携し修学旅行等においても活用する。また、転用で生じる地方債の返済も猶予されていた。



以上のことから、実際に住民を巻き込んでいくシステムを、当町でも積極的に取り入れていく必要があると感じた。

去る5月13日、14日に、北海道ニセコ町を視察研修しました。  
研修の内容は、ふれあいシャトル、廃校の活用、まちづくり基本条例、情報公開条例、幼児センターについてである。

**シャトルバス運行**  
ふれあいシャトルは、「スクールバス」「福祉バス」「一部の路線バス」を統合・再編し、平成14年4月より、誰でも一乗車100円(小学生以下

たことによる。統合再編により大幅な経費削減となった。

情報共有の主な取り組みは、文書管理システム(ファイリングシステム)で、情報を体系的にファイルし一括管理することにより、職員全体が情報を共有、住民サービスを提供、町民より非常に好評とのことだった。

幼児センターは、幼稚園と保育所、子育て支援センターを併せ持つ施設で、現地視察も行った。平成19年開設の施設は、教育委員会で管理運営を行い、0歳児から6歳までの幼児を受け入れ、利用ニーズに合わせた保育システムであった。

視察研修レポート

住民福祉常任委員会  
「まちづくりは住民主体で」  
副委員長 東 武史

**まちづくりの基本条例のとりくみ**  
まちづくり基本条例は、まちの憲法であり、全国に先駆けて平成13年4月1日より施行された。「情報共有」と「住民参加」を2大原則とし、4年に一回の見直しを行っている。

幼児センター現場視察





視察研修レポート

総務文教常任委員会

「新しい教育システムを考える」

委員長 森本 明

去る5月27日、28日、品川区の2つの教育施設を視察してきた。

幼保一元化施設とは

平成16年に開設の就学前乳幼児教育施設「ぶり



品川区教育委員会と意見交換

すくーる西五反田」は、0歳から5歳児の乳幼児が対象の、保育と教育を一体化させた施設であり、NPO法人「子育て品川」が指定管理者となり運営している。幼保一元化を実施したことで異なった年齢間の交流が深まるという利点があり、和楽器や外国語にふれる機会を与えるとともに、お年寄りとの交流を持つなど、多様な教育が行われている。

また、延長保育や一時預かり保育など、保護者の生活や経済面など、様々なニーズに対応している。さらに、子ども支援センターも併設され、保護者の子育て相談など、総合的な取り組みがなされており、子どもの園内活動をインターネットで配信し、「預ける」から「参加する」というキーワードで保護者の意識改革にも取り組まれていた。

小中一貫校の「伊藤学園」

次に、小中一貫教育で有名な、伊藤博文氏の流れをくむ学校「伊藤学園」を視察した。全国に先駆けた学校選択制・学校評価制度・学

力調査などの諸施策は品川区から全国へ発信されたと言っても過言ではないほど、積極的な教育を推進されている。小中9年間を通して、系統的、継続的に学力、体力、豊かな心を育む教育を行っている。



園長先生の説明を聞く

わが町にも施設を

視察を終えて、本町には幼稚園がないため、「ぶりすくーる西五反田」のような、幼保一体型の施設が一枚ぐらいいあってもよいのではないかと思う。また小中一貫校については、よいことはわかっていても、財政問題、住民意識の醸成など、わが町にはクリアしなければならぬことが多い。教育委員会とともに今後も注意深く調査していきたいと思う。



「午後のひととき」(みなさんに活用いただいている交流センター)

### 議会広報編集特別委員会 構成メンバー

○は委員、○は副委員、◎は委員長、◎は委員となります。

◎ 森谷 信哉	◎ 亀井 次男	◎ 浦井 博善	◎ 佐々木 裕哲	◎ 東 武史	◎ 西 弘義	◎ 地 谷 應
---------	---------	---------	----------	--------	--------	---------

### 求む!

議会広報誌「かわら版」の表紙を飾る写真・イラスト等を、町民みなさんから募らせていただいております。

有田川町の名所や風景などお気軽にご応募ください。なお、勝手ながらお寄せいただいた作品は返却できませんのでご了承ください。みなさんからのご意見、ご感想等もお待ちしております。

くわしくは  
議会事務局まで。

### お知らせ

一般質問の項目と順番が、町ホームページで見ることが出来ます。

町ホームページで議会の項目を検索していただく、各議員の一般質問項目と質問順がわかるようになります。

ぜひ、議会傍聴される上での参考にしていただきたいと思います。

なお金屋庁舎・清水行政局各出張所・連絡所でも資料を取り寄せることができます。



### 編集後記

有田川町になってから、早くも4回目の夏がやってきました。この号が発行される頃には、子どもたちは夏休みに入って、町内の山や川など至る所で元気な声が響いて、活気にあふれていると思います。また、地域のイベントなどもあり、町がより一層ひとつとなっていく、もりあがっている頃だと思えます。私達、議会議員も子どもたちの未来のため、町内のみならずのために、有田川町がますます発展できるように、一生懸命取り組んで参りたいと思います。これから夏本番となり、暑い日が続くと思いますが、お体をご自愛して頂きたいと思えます。

(森谷 信哉)

お問い合わせ  
☎521-2111  
古畑庁舎4階議会事務局まで